

特集 小平初の認定 NPO 法人 だれもがともに小平ネットワーク

NPO 法ができて 16 年、その中で取得が難しかった認定 NPO 法人の基準が一昨年緩和されました。昨年 11 月に、小平市内では認定取得第 1 号になった通称“ともにネット”代表の藤内昌信さんにお話を伺いました。

◆障がいがあっても地域で自分らしく暮らせる場を

“ともにネット”は、2000 年に当時小平福祉園職員だった藤内さんが、「障がいのある人達が、望まないので遠くの入所施設に行かざるをえない現実をなんとかしたい、地域での暮らしを支える拠点を作りたい」ということで、地域の作業所の人や障がいをもち、その家族に拠点づくりをよびかけるところから始まりました。最初のうちは公的支援制度もなく、利用者の費用負担で土日の遊びや宿泊体験などの取り組みを広げてきました。2003 年から支援費制度が始まったことで、「ともにネットサポートセンター」をオープン、以後毎年のようにショートステイやグループホームなどの開設に取り組んできました。それは、「遠くの施設に入所したくない」という利用者たちの声に突き動かされてのことだそうです。

◆認定法人取得を考え始めて

認定 NPO 法人のことは 3 年くらい前から考え始めていたそうです。同じ法人格でも税の優遇措置が受けられる「社会福祉法人」という選択肢もありましたが、寄付してくれる方々に税制上のメリットがあることや、自らの団体の活動を客観的にチェックしてもらった方がいいと思ったこと、そしてなにより「障がい者が福祉の枠の中で生きるのではなく、一人の市民として生きて欲しい」という会の設立主旨をずっと意識し続けるためにも NPO という形にこだわりました。さらに東日本大震災もひとつのきっかけになりました。被災地支援として集めた寄付を、法人として現地の福祉作業所などに寄付できたそうで、いざという時に寄付の窓口になれる「認定」があった方がいいと思ったそうです。

◆認定基準クリアに向けて

認定基準の最大の難関である「パブリック・サポート・テスト」、これは広く市民からの支援を受けているかどうかを表すもので、3,000 円以上の寄付者が年平均 100 名以上必要というものです。高額でないとはいえ 100 人以上、それも毎年継続してとなるとなかなか容易に出来るものではありません。幸い賛助会員が多かった同会は、年会費 2,000 円を 3,000 円に値上げすることを 2012 年 5 月の総会で決めました。翌年 5 月に東京都に事前相談し、9 月には現地立会審査のため都から職員が来所、さまざまなチェックやヒアリングが行われました。最大のチェック項目はやはり寄付関係で、寄付者管理が適正に行われているか、寄付者名簿と領収書の付け合せは厳しかったそうです。帳簿類以外にも過去 2 年分の財務諸表や定款、内部規程類などを細かく見られて抜け落ち部分を指摘され、アドバイスを受けて整理していきました。この経験から「日頃からの帳簿関係の整理が重要」と藤内さんは話していました。

◆人材がキーポイント

そのためにも会の活動を担う人材は重要とのこと。経理担当者は非常勤ながら発足当初から携わってきた方で、会の事業の目的を充分理解しているため、その方がいなかったら認定は取れなかったと話す藤内さん。「会の経費の 8 割は人件費で、この先増えていくことは確実。でもこの分野は人材がキーポイント！」とも。現在、常勤・非常勤職員合わせて 20 数名の他、サポーター 40~50 名で活動を行っていますが、泊まりができる人を見つけるのが難しいそうです。人づてや求人情報誌等で募集してもこの業種は求人氷河期とのこと。そんな中で“ともにネット”は定着率は良いらしく、また研修体制も整っているようでした。

◆認定 NPO 法人として

認定を取ったことによるメリットを尋ねたところ、「税制上メリットを受けられる寄付者はそうはいない。むしろ報告書作成などの負担が増える。しかし会の収入はほぼ税金なのできちんとする責務がある。いい加減な自分を縛る意味では取ってよかった。」と話されました。認定を取ったからといってすぐに寄付が増えるわけではありません。「何のために寄付をお願いするのかを明らかにすることが大事。自分たちがどういう活動をしようと思っているのか、現状はこうだけど寄付をいただけたらこんなことができる、それを常日頃から会員に伝えていくこと」という、ファンドレイジングで大切な観点もお聞きできました。今後認定取得を考えようとする団体にとっては、他にも細かい経験談が聞けそうな頼もしい先輩に思えました。(取材：長瀬&田原、文責：田原)

*現在、小平市内では「NPO 法人ふれあいらんど小平の会」が仮認定 NPO 法人です。

NPO 法人だれもがともに小平ネットワーク

小平市仲町 269-1 サンハイム小山 102

☎042-308-3732 FAX 042-308-3749

<http://tomoninet.wix.com/tomoninet>

ごはん処ぶら〜り 〜

「ごはん処ぶら〜り」は「だれもが気軽に寄れる店」をモットーに 2012 年 1 月にオープンしました。

昼は定食、夜は居酒屋としての憩いの

場をめざしています。野菜中心、禁煙のお店です。

団体貸切も受け付けています。

小平駅南口徒歩 1 分、西友裏。

☎042-403-8137



私たちは「人にやさしいお店」をめざします！